

## 府内企業へのアンケート調査結果

おおさか企業モニター「社長パル」（府内に本社・本店を有する企業の代表者が登録）を活用して実施。

アンケート名 「環境に関するアンケート」

アンケート実施期間 平成21年12月22日～平成22年1月12日

回答企業数 213社

(属性別割合)

【業種別】

| 製造業   | 建設業  | 運輸業  | 商業    | サービス業<br>その他 |
|-------|------|------|-------|--------------|
| 47.9% | 7.5% | 1.4% | 15.0% | 28.2%        |

【資本金規模別】

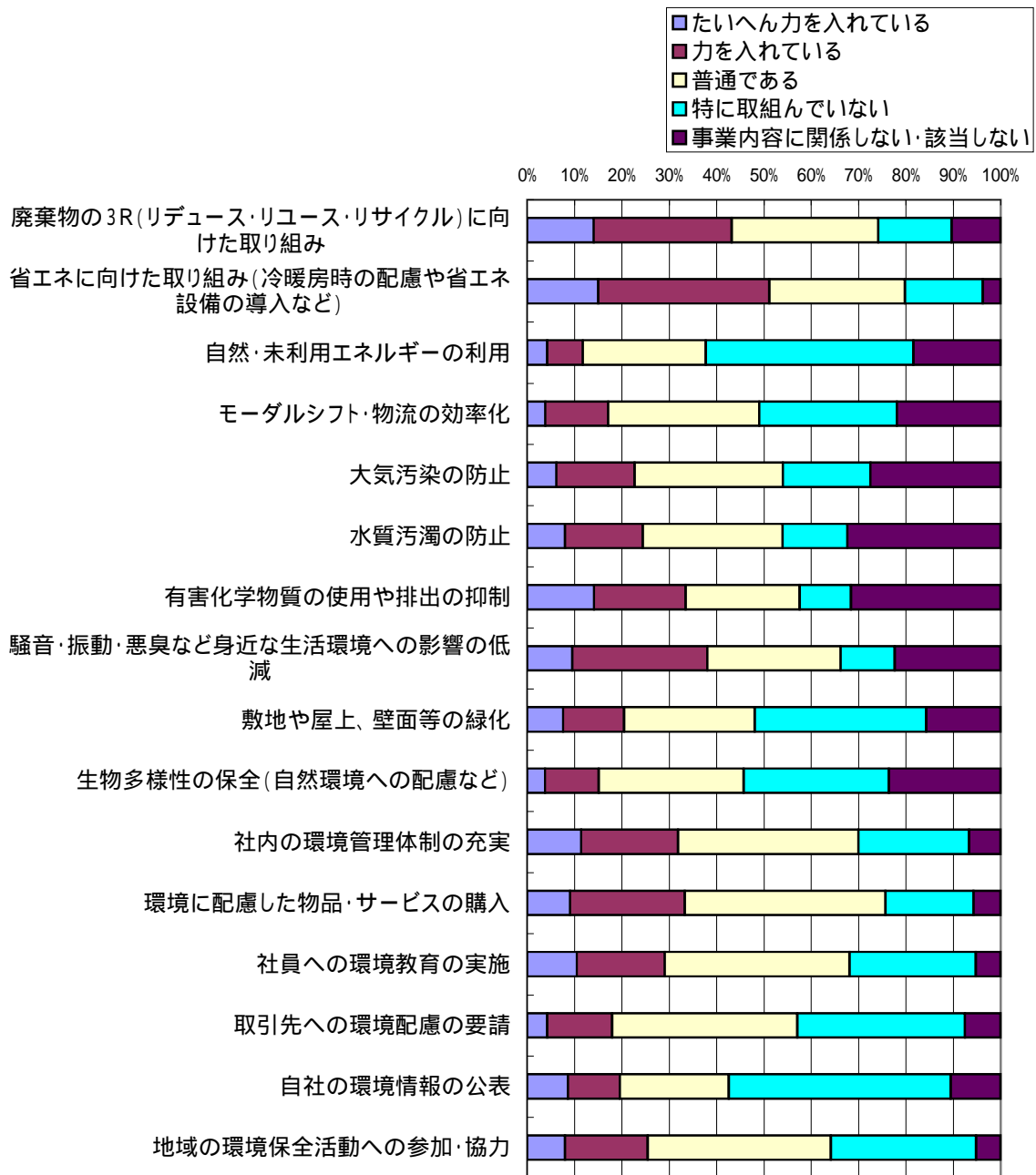
| 1000万円<br>未満 | 1000万<br>～3000万 | 3000万<br>以上 | 不明    |
|--------------|-----------------|-------------|-------|
| 16.9%        | 44.1%           | 28.2%       | 10.8% |

【従業員規模別】

| 4人以下  | 5～9人  | 10～29人 | 30人以上 |
|-------|-------|--------|-------|
| 28.2% | 14.1% | 23.9%  | 33.8% |

## Q1 環境保全・環境配慮の取組み状況

貴社では、次のような環境保全・環境配慮の取組みに力を入れていますか？



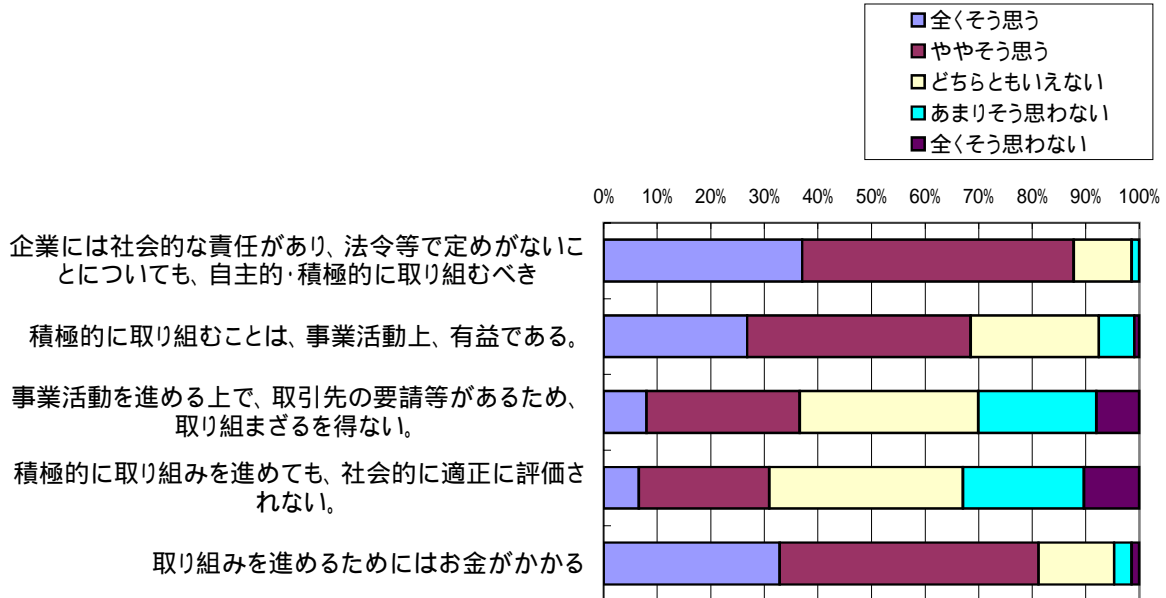
<参考> 直近の収益状況別に見た取組み状況

廃棄物の3R(リデュース・リユース・リサイクル)に向けた取組み

|        | たいへん力を入れている | 力を入れている     | 普通である       | 特に取組んでいない   | 事業内容に関係しない・該当しない | 総計            |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------------|---------------|
| 黒字基調   | 18<br>20.9% | 32<br>37.2% | 17<br>19.8% | 13<br>15.1% | 6<br>7.0%        | 86<br>100.0%  |
| 収支とんとん | 8<br>11.6%  | 14<br>20.3% | 25<br>36.2% | 12<br>17.4% | 10<br>14.5%      | 69<br>100.0%  |
| 赤字基調   | 3<br>5.9%   | 14<br>27.5% | 22<br>43.1% | 7<br>13.7%  | 5<br>9.8%        | 51<br>100.0%  |
| 不明     | 1<br>14.3%  | 2<br>28.6%  | 2<br>28.6%  | 1<br>14.3%  | 1<br>14.3%       | 7<br>100.0%   |
| 合計     | 30<br>14.1% | 62<br>29.1% | 66<br>31.0% | 33<br>15.5% | 22<br>10.3%      | 213<br>100.0% |

## Q2 環境保全・配慮の取組みへの認識

環境保全・環境配慮の取組みに関する下記の考え方について 貴社の認識に近いものを選んでください。



### <参考> 従業員規模別に見た取組みの認識

企業には社会的な責任があり、法令等で定めがないことについても、自主的・積極的に取り組むべき

|        | 全くそう思う      | ややそう思う       | どちらともいえない   | あまりそう思わない | 全くそう思わない  | 総計            |
|--------|-------------|--------------|-------------|-----------|-----------|---------------|
| 4人以下   | 21<br>35.0% | 30<br>50.0%  | 8<br>13.3%  | 1<br>1.7% | 0<br>0.0% | 60<br>100.0%  |
| 5～9人   | 14<br>46.7% | 12<br>40.0%  | 4<br>13.3%  | 0<br>0.0% | 0<br>0.0% | 30<br>100.0%  |
| 10～29人 | 18<br>35.3% | 30<br>58.8%  | 3<br>5.9%   | 0<br>0.0% | 0<br>0.0% | 51<br>100.0%  |
| 30人以上  | 26<br>36.1% | 36<br>50.0%  | 8<br>11.1%  | 2<br>2.8% | 0<br>0.0% | 72<br>100.0%  |
| 合計     | 79<br>37.1% | 108<br>50.7% | 23<br>10.8% | 3<br>1.4% | 0<br>0.0% | 213<br>100.0% |

### <参考> 企業の認識(Q2)と取組み状況(Q1)の関係

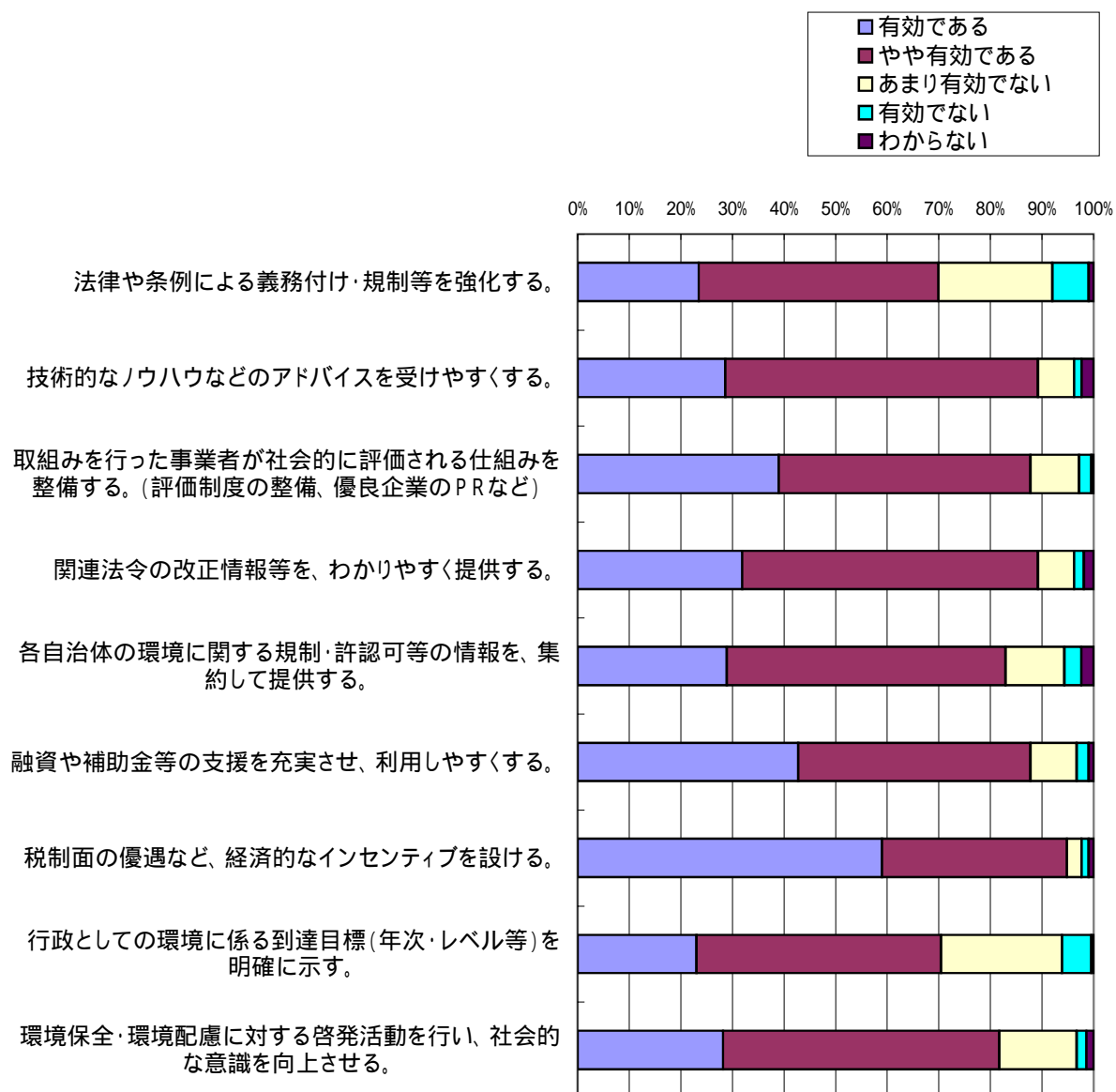
(Q2) 企業には社会的な責任があり、法令等で定めがないことについても、自主的・積極的に取り組むべき

(Q1) 省エネに向けた取組み(冷暖房時の配慮や省エネ設備の導入など)

| ↓Q2       | Q1→         | たいへん力を入れている | 力を入れている     | 普通である       | 特に取り組んでいない | 事業内容に関係しない・該当しない | 総計 |
|-----------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|------------------|----|
| 全くそう思う    | 23<br>29.1% | 30<br>38.0% | 16<br>20.3% | 6<br>7.6%   | 4<br>5.1%  | 79<br>100.0%     |    |
| ややそう思う    | 8<br>7.4%   | 40<br>37.0% | 33<br>30.6% | 24<br>22.2% | 3<br>2.8%  | 108<br>100.0%    |    |
| どちらともいえない | 1<br>4.3%   | 7<br>30.4%  | 11<br>47.8% | 3<br>13.0%  | 1<br>4.3%  | 23<br>100.0%     |    |
| あまりそう思わない | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%   | 1<br>33.3%  | 2<br>66.7%  | 0<br>0.0%  | 3<br>100.0%      |    |
| 全くそう思わない  | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%   | 0<br>0.0%  | 0<br>0.0%        |    |
| 合計        | 32<br>15.0% | 77<br>36.2% | 61<br>28.6% | 35<br>16.4% | 8<br>3.8%  | 213<br>100.0%    |    |

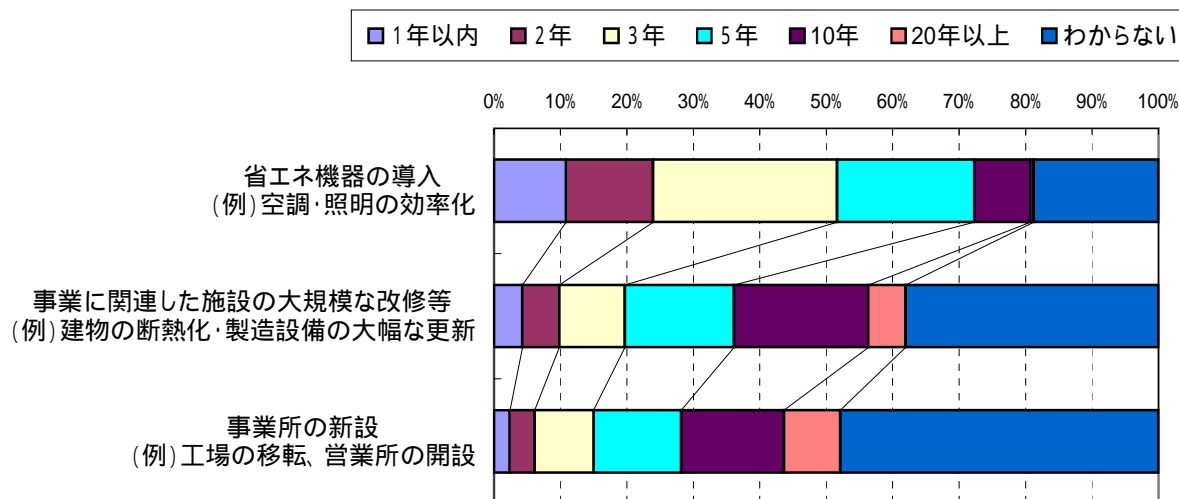
### Q3 環境施策の有効度

事業者が環境保全・環境配慮の取り組みを進めていくためには、こういった施策が有効だと思われませんか？



## Q4 投資の決定時期

貴社が、下記の事項について検討される場合、何年程度まで先を見据えて決定されますか。最も近いものを選んでください。



< 参考 > 従業員規模別に見た投資決定時期

### 省エネ機器の導入 (例) 空調・照明の効率化

|        | 1年以内        | 3年          | 5年          | 10年         | 20年        | 20年以上     | わからない       | 総計            |
|--------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|-----------|-------------|---------------|
| 4人以下   | 6<br>10.0%  | 5<br>8.3%   | 17<br>28.3% | 8<br>13.3%  | 5<br>8.3%  | 1<br>1.7% | 18<br>30.0% | 60<br>100.0%  |
| 5～9人   | 2<br>6.7%   | 5<br>16.7%  | 10<br>33.3% | 3<br>10.0%  | 2<br>6.7%  | 0<br>0.0% | 8<br>26.7%  | 30<br>100.0%  |
| 10～29人 | 9<br>17.6%  | 7<br>13.7%  | 13<br>25.5% | 12<br>23.5% | 4<br>7.8%  | 0<br>0.0% | 6<br>11.8%  | 51<br>100.0%  |
| 30人以上  | 6<br>8.3%   | 11<br>15.3% | 19<br>26.4% | 21<br>29.2% | 7<br>9.7%  | 0<br>0.0% | 8<br>11.1%  | 72<br>100.0%  |
| 合計     | 23<br>10.8% | 28<br>13.1% | 59<br>27.7% | 44<br>20.7% | 18<br>8.5% | 1<br>0.5% | 40<br>18.8% | 213<br>100.0% |

### 事業に関連した施設の大規模な改修等 (例) 建物の断熱化・製造設備の大幅な更新

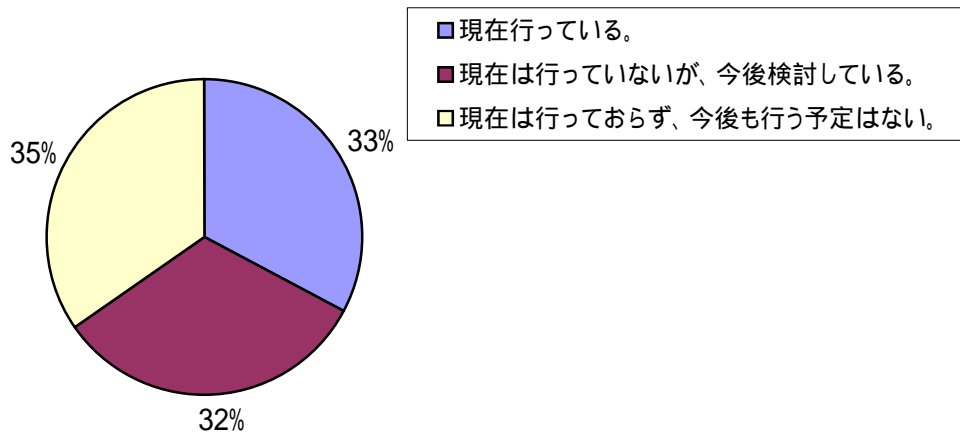
|        | 1年以内      | 3年         | 5年         | 10年         | 20年         | 20年以上      | わからない       | 総計            |
|--------|-----------|------------|------------|-------------|-------------|------------|-------------|---------------|
| 4人以下   | 2<br>3.3% | 1<br>1.7%  | 5<br>8.3%  | 7<br>11.7%  | 8<br>13.3%  | 4<br>6.7%  | 33<br>55.0% | 60<br>100.0%  |
| 5～9人   | 0<br>0.0% | 0<br>0.0%  | 3<br>10.0% | 6<br>20.0%  | 5<br>16.7%  | 2<br>6.7%  | 14<br>46.7% | 30<br>100.0%  |
| 10～29人 | 5<br>9.8% | 6<br>11.8% | 5<br>9.8%  | 9<br>17.6%  | 8<br>15.7%  | 3<br>5.9%  | 15<br>29.4% | 51<br>100.0%  |
| 30人以上  | 2<br>2.8% | 5<br>6.9%  | 8<br>11.1% | 13<br>18.1% | 22<br>30.6% | 3<br>4.2%  | 19<br>26.4% | 72<br>100.0%  |
| 合計     | 9<br>4.2% | 12<br>5.6% | 21<br>9.9% | 35<br>16.4% | 43<br>20.2% | 12<br>5.6% | 81<br>38.0% | 213<br>100.0% |

### 事業所の新設 (例) 工場の移転、営業所の開設

|        | 1年以内      | 3年         | 5年         | 10年         | 20年         | 20年以上       | わからない        | 総計            |
|--------|-----------|------------|------------|-------------|-------------|-------------|--------------|---------------|
| 4人以下   | 1<br>1.7% | 1<br>1.7%  | 5<br>8.3%  | 8<br>13.3%  | 4<br>6.7%   | 3<br>5.0%   | 38<br>63.3%  | 60<br>100.0%  |
| 5～9人   | 0<br>0.0% | 0<br>0.0%  | 4<br>13.3% | 2<br>6.7%   | 2<br>6.7%   | 3<br>10.0%  | 19<br>63.3%  | 30<br>100.0%  |
| 10～29人 | 3<br>5.9% | 6<br>11.8% | 6<br>11.8% | 4<br>7.8%   | 11<br>21.6% | 2<br>3.9%   | 19<br>37.3%  | 51<br>100.0%  |
| 30人以上  | 1<br>1.4% | 1<br>1.4%  | 4<br>5.6%  | 14<br>19.4% | 16<br>22.2% | 10<br>13.9% | 26<br>36.1%  | 72<br>100.0%  |
| 合計     | 5<br>2.3% | 8<br>3.8%  | 19<br>8.9% | 28<br>13.1% | 33<br>15.5% | 18<br>8.5%  | 102<br>47.9% | 213<br>100.0% |

## Q5 環境ビジネスの実施状況

貴社の事業活動において、環境保全・環境配慮に資する製品・サービスの開発や販売等の環境ビジネスを行っていますか。



## Q6

具体的にはどのような環境ビジネスを実施または検討されていますか？お書きできる範囲で簡単にお書きください。【自由記述】

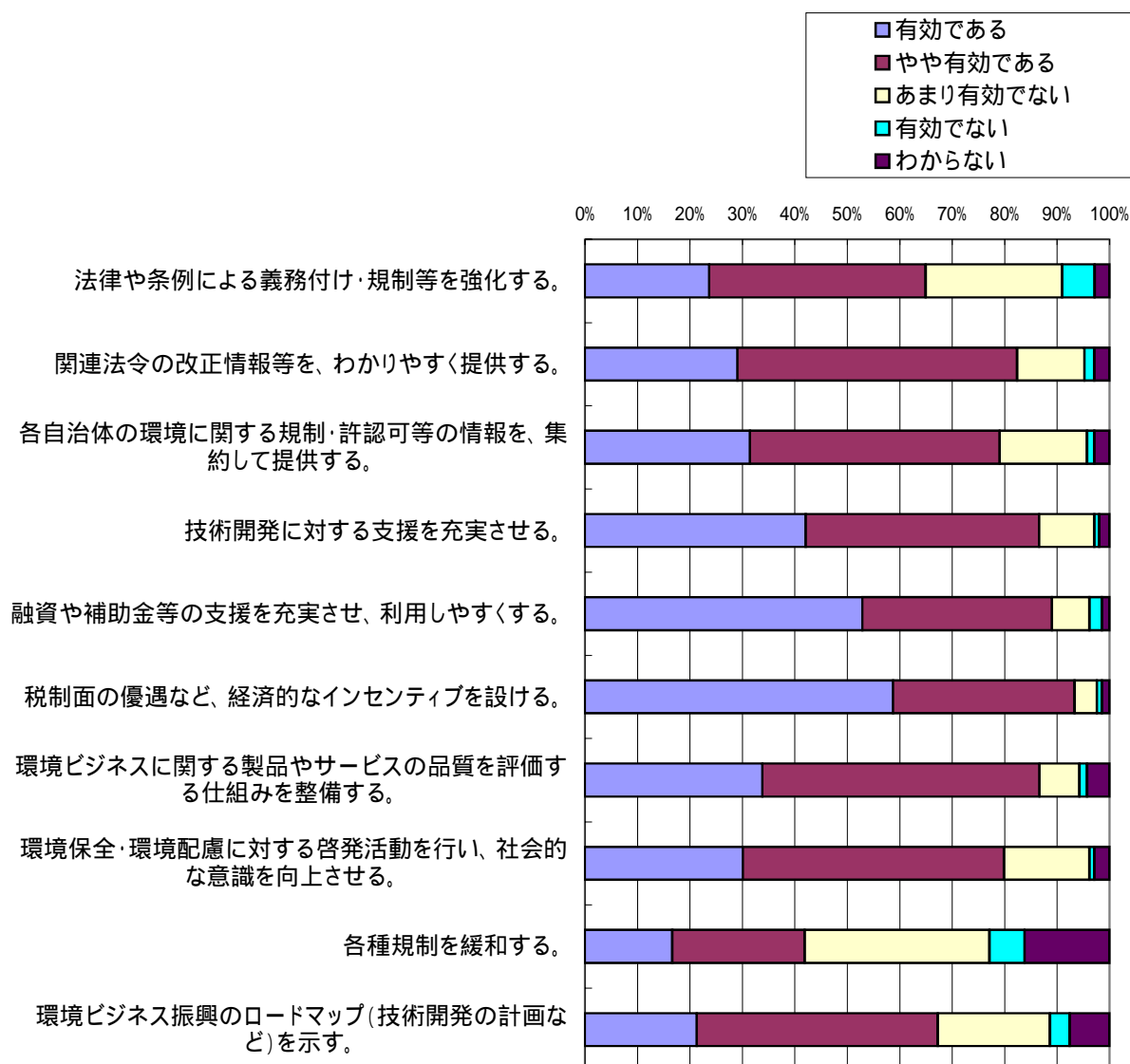
【回答数】89件

【主な内容】

| 関連分野              | 件数  |
|-------------------|-----|
| 新エネ・省エネに関する技術・製品  | 24件 |
| 3Rに関する技術          | 9件  |
| 環境配慮型製品(リサイクル製品含) | 9件  |
| 公害防止装置            | 7件  |
| 緑化                | 2件  |

## Q7 環境ビジネス振興施策の有効度

環境ビジネスを振興していくためにはこういった施策が有効だと考えられますか？



## Q8

Q7で各種規制の緩和が「有効である」「やや有効である」とされた方へお聞きします。具体的にこういった規制の緩和が環境ビジネスの振興に有効であると思われませんか？

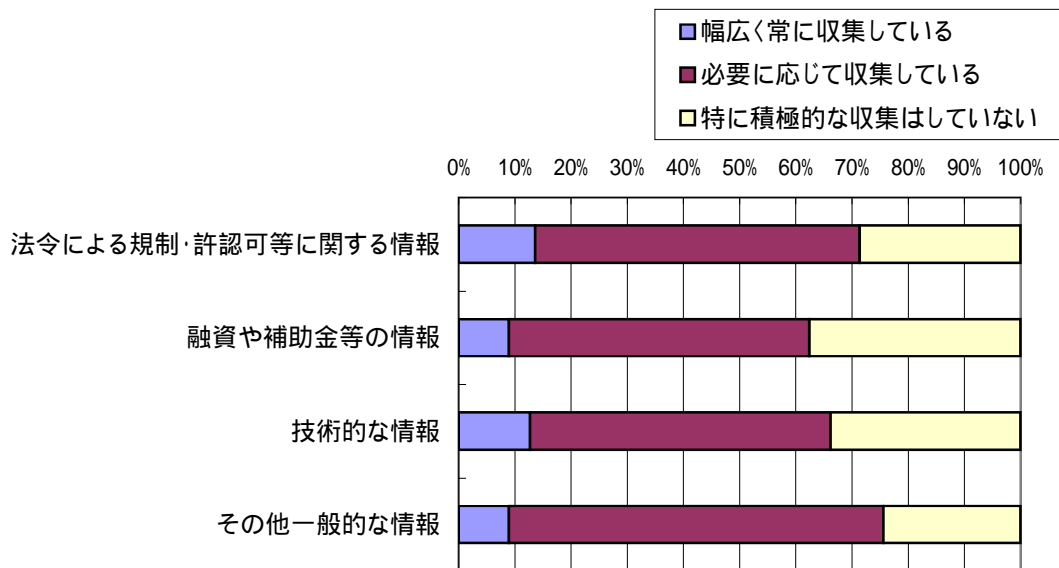
【回答数】35件

【主な内容】

| 項目              | 件数 |
|-----------------|----|
| 融資・補助等の拡大       | 7件 |
| 税制面の優遇          | 4件 |
| 入札条件の緩和・新規参入の促進 | 6件 |

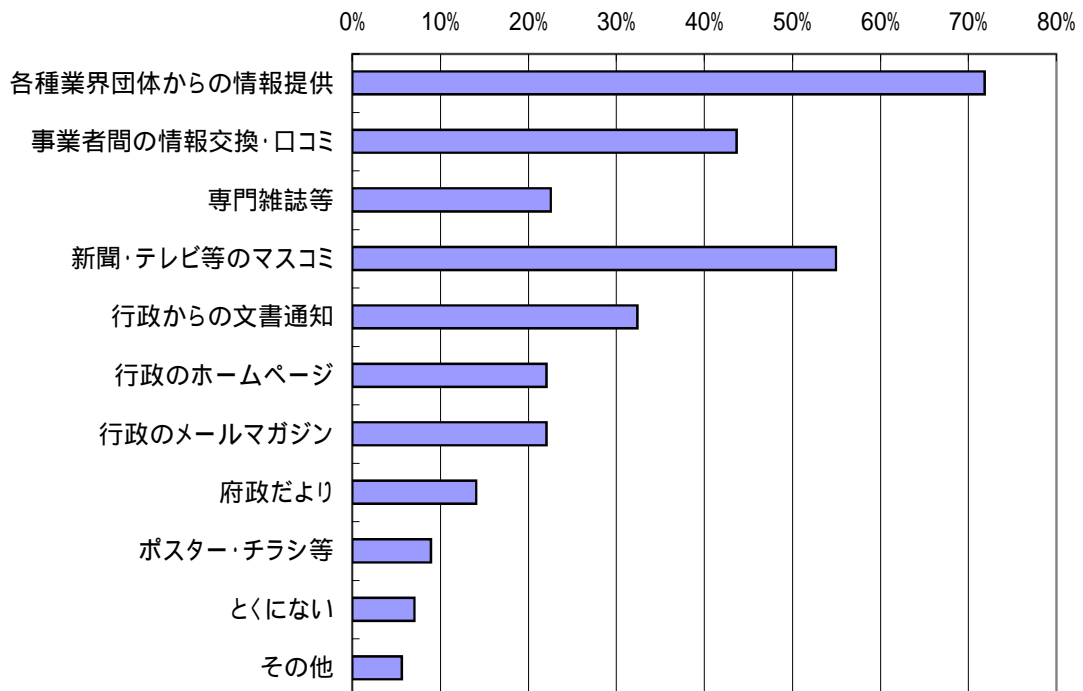
## Q9 環境に関する情報の収集状況

貴社では、環境に関連する以下の情報の収集に力を入れていますか？



## Q10 環境に関連する情報の入手媒体

貴社が環境に関連する情報を入手するにあたり、よく利用する媒体は何ですか？





## Q11 自由記述

大阪の環境の状況・環境に対する取り組み等、ご意見がありましたらご自由にお書きください。

【回答数】76件

【主な内容】 個別意見は別紙参照

| 項目           |          | 件数  |  |
|--------------|----------|-----|--|
| 行政の施策等に関する意見 | 情報発信     | 14件 | ・情報をわかりやすく提供してほしい<br>・取組みを積極的にアピールすべき。           |
|              | 助成・補助等   | 7件  | ・環境配慮のための設備導入時の助成を増加してほしい。<br>・補助申請時の手続きを簡便にほしい。 |
|              | 規制       | 4件  | ・違反している企業等の取締りを厳しくすべき。                           |
|              | その他      | 12件 | ・環境改善に取り組んだ企業の公表や表彰を行ってはどうか。                     |
| 環境質の向上       | 川・水環境    | 7件  | ・大阪の環境は「水」が根底にあると思う。活性化のため水を取り巻く環境整備等をしてほしい。     |
|              | 分別・リサイクル | 5件  | ・さらに分別を進めるべき。                                    |
| 意識・取組みの向上    | マナーの向上   | 3件  | ・ポイ捨て等の規制やマナー向上により、まちを美しくしてほしい。                  |
|              | 企業の取組み   | 4件  | ・企業の環境に対する取組みは大変重要。                              |

## Q11 自由記述

|    |   |
|----|---|
| 1  | 高石市では、突然、有料ごみ袋の採用が決まりました。環境対策に本当に活用されているのか全く情報の開示が無い状況です。我々は工業団地ということもあり企業で浄化施設を建設・運営しています。それに加えてのごみ袋有料化、勿論業者にごみの収集はお願いしていますが「市では工業団地のごみ収集はしてくれませんので」何か釈然としません、それらに情報は開示しないで、府民にだけ意識を持ってと言われても非協力的になるだけです。舞洲に処理場でも、なんらの改善がされないままで経費だけがかかっているのではと報道されていましたが、行政はどの様に考えているのでしょうか、自分の襟を正さないで府民に御願してもなんらの効果は期待できません。 |
| 2  | 「水の都」大阪。河川敷の公園化や緑地化により、集える場として提供いただければ助かります。また、屋上、壁面、室内緑化等の取り組みに対して、助成金などがあるとありがたいです。   |
| 3  | 1. 環境に配慮する自治体としての「大阪ブランド」をつくりあげる。<br>2. 緑地、緑をもっともっと増やす。公立小中学校のグラウンドの芝生化は大賛成です。  |
| 4  | LED、太陽光導入を検討している企業に対する助成を拡充してほしいです。<br>大阪府下にある第三セクターに立地する企業をモデルとしたエコ工場を推進する取り組みがあれば全国的にPRできる。大阪にはシャープ、三洋、パナソニックがあるから可能ではないでしょうか。  |
| 5  | あまり取り組み内容が具体的には伝わっておりません。   |
| 6  | アンケート収集、御苦労さまです。  |
| 7  | いっぱいありすぎて書ききれないが、まず国の指針が必要。次に行政区分のどこがどこまでするのか明確にするべき。私自身、市町村単位でごみ行政が違うこと自体に違和感を感じる！<br>全く国が何もしていない！<br>環境省も、ポリ袋削減など意味ないことばかりに力を入れるべきではない！<br>特定の業種に大いに問題が降りかかる。<br>本当に何がいいのか、どうするべきなのか、しっかりした方針が必要。縦割り行政で業界団体が迷惑して、語句表面的な環境指針しか出せないような企業の集まりではだめだ！  |
| 8  | グリーン購入を中小企業に呼びかけて欲しい。   |
| 9  | コスト削減ならば、どの企業も導入すると思います。本当に環境に良いことはなにかを理解せずに、錯覚を起こしている人も多くいるのではないのでしょうか。  |
| 10 | このような経済状況下に於いて、我々中小企業に「環境に対する規制」をかけるべきではない。余力のある企業が自主的に取り組む問題だと考えます。  |
| 11 | とに角「たんつぼ」からの脱却で、電柱の地価埋設にお金を使って、日本一美しいマナーの良い国際的文化都市の姿を日本で真っ先に展開するモデル都市にする大きくチェンジする必要があると思います。<br>子供教育もそれに沿ったものにシフトする必要があります。   |
| 12 | モラルの低い人が多い。<br>それを規制するので一般人まで影響を受ける。<br>大阪の町は公衆トイレじゃない！<br>落書き・ごみのポイ捨てなどきちんと検挙すべき。  |
| 13 | より多くの情報発信を期待しております！<br>また、大阪から世界に向けて環境対応のPRが出来るくらいの企画や運営を期待しております！  |
| 14 | 以前に比べたら、断然わかりやすく情報提供していただいているので、これからもどんな取り組みをしているのか、したいのかを発信していただければ問題ないと思います。  |
| 15 | 家庭ごみ、産業廃棄物の有効活用をもっと進めるべきだと思う。<br>分別収集しても、最終的には同じところで燃やしているとも聞きますと、分別の意味がない！しかしこれを分別収集のための予行演習と考える事も出来るが、分別収集したものは有効に活用できるようにしたい。  |
| 16 | 河川や公園等の公共の場にゴミを捨てることをもっと取り締まってほしい。街を大事にする感覚が薄いように感じる。   |
| 17 | 会社の方針と社会に対する姿勢。貢献と思います。   |
| 18 | 環境がビジネスになる仕組みづくりには何か大きな役割があると思います。あまり詳しい分野ではありませんので、ご指導よろしくお願いたします。   |
| 19 | 環境に取り組む企業を評価する施策を打出してほしい。<br>環境関連条例をわかりやすく周知徹底してほしい。<br>国、府、市町村に分れた環境行政を一元化してほしい。<br>抽象的ですが、環境問題を中小企業もビジネスチャンスにできる社会的システムを構築してほしい。  |
| 20 | 環境への取り組みに関しましては、結構難しい面がありますので、申し訳ありませんが、何とも言えないのが現状です。<br>(環境への配慮についての重要性は分かっているが、事業との兼ね合いがあるため…)   |
| 21 | 環境改善に取り組むにはお金が掛かります。余裕がないこの時期に、自費では取り組みが難しいと思う。助成金など、具体的施策がないと、新たな設備などは無理です。現在出来ることは、少しずつ取り組んでいますし。   |
| 22 | 環境改善に対する取り組みをしている会社に認定番号やマークを与える。また、認定された企業は府のHPなどで閲覧できるようにする。その様なことにより企業イメージのアップと宣伝が出来るのではないのでしょうか？  |
| 23 | 環境商品は購買者の意識によるもので利益は望めない。   |
| 24 | 環境対策に取り組んでいる企業を大阪府としても広く公表することや、後々は、表彰することなどを行って欲しいと思います。   |

|    |  |
|----|--|
| 25 | 関西にはエネルギーや環境に関連した大手事業者が集積しており、協調した事業活動により大阪ならではの成果の獲得と情報発信が為されるように期待いたしております。  |
| 26 | 企業が太陽光発電、燃料電池(蓄電池)、LED蛍光灯などを導入しやすいように、優遇処置や助成金などを出してほしい。<br>役所や学校が率先して、これらをどんどんと導入して欲しい。これら財源として、自治体だけの環境税みたいなもの   |
| 27 | 企業の環境に対する取り組みは大変重要であり、積極的に実施していかなければならないと考えています。その一方で、CO2の排出量だけを見ると、一般家庭からの排出量の増加のほうが、大きな問題だと感じます。条例や罰則が効果を発揮するのか疑問ですが、家庭での取り組みを強化する施策をお願いします。   |
| 28 | 企業規模の大小を問わず、各企業に於いて規制または、法制化されている事からまず遵守し、企業の社会的責任において、最低でも客観的にも目に余るものから監視し、勿論勧告からはじめて守れない違反企業には何らかの罰則を設けても良い時期にきているのではないかと考えます。   |
| 29 | 規制緩和のモデルになって下さい。   |
| 30 | 喫煙所の促進も必要である。  |
| 31 | 橋本知事の今後の展望、取り組みに期待しています。   |
| 32 | 現在の経済環境では、環境に対する投資はなかなか難しい状況であると思う。費用のかからない省エネを取り組むしかない。この時点で環境に対する規制などをしていくことは良くないと思う。大阪の環境に対する取り組みは、何をしているのか知らない。環境の状況としては、車の渋滞、街全体の電力使用量が多いということが環境に良くないのかと。  |
| 33 | 現在の取組をもっとアピールしたほうが良いと思います。   |
| 34 | 御堂筋の自転車専用道路を早期に実現してください。撤去以外の自転車推進策に大いに期待しています。また市民参加型の「大阪マラソン」もぜひ実現してください。大阪市内で実際にランニングすればこの空気が汚れているか強く実感できます。以上。   |
| 35 | 行政の取り組みは理念ばかりで、まったくあてにならない。既存法律や条例違反を犯している中小事業者がどれほどいるか把握していない。把握していたとしても、中小事業者への経済負担を考慮するあまりに、指導程度で終わり、行政処分をおこなえない状態にある。そのため、いくら実行ある条例を策定したところで、ほとんど意味はない。  |
| 36 | 今の環境に関する事業取組が、ビジネス思考のみになっているように感じられ、本来の地球に、人に、動物にとつての環境から大きくかけ離れているように感じます。本当の「環境への取組」を考えるのなら、ビジネス思考を無くした考え方を重視し、大きなシェアで考えるのではなく、ごく小さな地域から、一人ひとりがその事を思い、考え、行動することが重要で、企業がその事を大切に、小さなことから実施していくことが本当に社会貢献であり、環境に関する取組みだと考えています。                         |
| 37 | 今回の中の島に見える、水都・光のルネッサンスのように積極的に街づくりなどをするのできれいになり、またそれが環境に役立つストーリーが見えると解りやすくなる。<br>このイベント自身も一部エネルギーの無駄を省いて成功であるように思える。<br>また現代先端技術(例・LED等)がエネルギー消費を抑えつつも尚且つ、美しく明るいなどの解りやすいプレゼンが出来る点など、良かったと思う。   |
| 38 | 仕事のない人に、新しい資源になる(廃品など)の回収組織を市や府がリードしてあらたなビジネスを立ち上げる。   |
| 39 | 私の店舗としてはあまり環境問題と密接な関わりがありませんが、大阪で30年育った私としては、「環境問題」や「排出規制」という堅い言葉ではなく、NPO団体の「大阪・水かいどう808」さん達の企画する「道頓堀で泳ごうや〜」や「この川で泳げるアイデア募集中!」などと言った響きの方が大阪人の環境問題を呼び起すには適している気がします。<br>環境問題は社会や企業の問題では無く、もっと身近な問題だという事を、もっと大阪らしいユーモアあふれる表現に切り替えていく事も一つの有効な方法ではないでしょうか。 |
| 40 | 自治会、地域の企業が一緒になって地元の環境について話し合う場があればもっと草の根的な運動に発展していくと思う。  |
| 41 | 自然な景観を取り戻しつつ、美しい河川・山・街並みのなかでモノを大切に作る心豊かな生活が出来る環境作りを願います。   |
| 42 | 車、家電製品だけでなく、産業機械や、生産設備の省エネルギータイプ更新の際の優遇処置。   |
| 43 | 取り組みが弱い。(地域をあげての取り組みがない)明確さに欠ける。   |
| 44 | 取り組みをもっと宣伝する必要がある。<br>メール等の配信を受けているが、それでも見落とすことがあるので、昔ながらのチラシや広告が今後も必要と思う  |
| 45 | 消費者と環境問題を考える取組のひとつとしてレジ袋のマイバッグ運動や有料化に取り組んでいます。和歌山県や京都市は熱心で、条例で無料配布の禁止や協定の締結を実施しています。大阪府におかれましては条例等を検討いただければと考えます。  |
| 46 | 情報がわかりにくい。   |
| 47 | 審議会等でのメンバー構成が学識経験者として大学教授や主婦団体の代表という場合が多く見かけられ、その業界の代表者が少なく情緒的な意見が多く変な規制へと進みやすい、もっと多くの業界代表者の意見も聞いて欲しい。そうすればメンバーの皆様にも業界をより理解した上で、お互い良い案が提案されると思います。   |
| 48 | 申し訳ありません。<br>ソフトウェア業のため、あまりいいアイデアを持ち合わせていません。<br>ソフトウェアによる生産性向上により、間接的に省エネの産業構造の実現に寄与できるよう、自社事業に励みたいと思います。   |

|    |  |
|----|--|
| 49 | <p>申し訳ないのですが、どういった取り組みをされているのかも、よく理解していません。<br/>「大阪の環境」というと「大阪市内」をイメージするのですが、大阪府の話なので、全域ですよ。<br/>子供に指摘されてルールやモラルを守る親が多いので、学校教育でもっと環境に関して、特に自宅でできる環境対策について教育する時間を設けてもらうのは効果的だと思います。<br/>タバコを捨てる、電気や暖房の無駄遣い、ごみの減量、白熱灯から蛍光灯やLEDに切り替える運動など、身近なところから教えられたいと思います。</p>  |
| 50 | <p>身近な環境への取組を、もっと紹介して欲しい。</p>  |
| 51 | <p>水の都大阪の復権をお願いしたい。<br/>自然と共生できる環境作りを期待します。</p>  |
| 52 | <p>大気汚染、水質汚濁についての取り組みなど、企業が取り組みにくい分野に行政が力を入れてほしい。</p>  |
| 53 | <p>大気排ガス汚染・悪臭対策が大阪府行政の取締りが緩く思われる。</p>  |
| 54 | <p>大阪の河川等が徐々にきれいになっているように思います。これからも引き続きクリーンな街づくりをお願い致します。</p>  |
| 55 | <p>大阪の幹線道路は「植え込み」中にゴミがすごい捨てられている。マナーが最低、他府県では大阪ほどひどくない、個人のモラルの問題であるが、シンガポールみたいに、ゴミを捨てたら罰金を取るべきだ、監視員を雇用して地域を守らせれば、雇用も増え「環境」も抜群にきれいになり、一石二鳥である。</p>  |
| 56 | <p>大阪の環境に対する取り組み等を行政は、色々とされていると思われます。<br/>ならば…府民、市民に効果的で解りやすい工夫が必要だと思います。</p>  |
| 57 | <p>大阪の環境は「水」が根底にあると思う。<br/>水を取り巻く環境整備・水を使った暑さ対策を積極的に打ち出し、活性化してほしい。</p>   |
| 58 | <p>大阪の環境は一部工場地区を除き、大変良いと思います。</p>  |
| 59 | <p>大阪の工場の駐車場の緑化を推進し、大阪府産の資材を積極的に活用する。ターフパーキングが、三洋電機の二色の浜の太陽電池の工場の駐車場に使われたように、橋下知事が校庭の芝生化だけでなく、駐車場の緑化が進んでいることを積極的にPRする。</p>   |
| 60 | <p>大阪の町は汚い、失業者を雇い、ごみの回収、河川の清掃でもしてほしい。失業者も少なくなり、街もきれいになる。</p>   |
| 61 | <p>大阪市では、ごみの分別を、他の都市と比較して、あまり真剣に取り組んでいるように思えないのですが、分別収集したごみを、混合して焼却しているというのは事実でしょうか。</p>   |
| 62 | <p>大阪市の環境に関する取り組みは全くなされていない。<br/>まず、ゴミの分別は各自治体の取り組みの数年は遅れている。それと国や行政は、何かと書類による提出を求めデータ化がなされていない。そのため、同じ書類を市町村、府へ提出させ、無駄な労力と無駄なペーパーを生み出している。<br/>個人や企業は環境への意識は高く、自ら努力している。<br/>規制や条例というルールではなく、気持ちよく行動を促す環境を作るべき。<br/>下記のサイトをご参考下さい。http://thefuntheory.com/<br/>ルールというものではなく、環境が人(行動)を変える。楽しみと同じくらい簡単なものが人々のふるまいを改善する最も簡単な方法であるということを教えてくれるサイトです。</p>  |
| 63 | <p>知事の姿勢を府職員は実行していない。<br/>全く信用できない。知事はこの実態を認識しているのだろうか疑問だ。</p>   |
| 64 | <p>日本のモデルとなるような関西の企業が環境産業でうような先導的な環境政策の実施。</p>   |
| 65 | <p>肺がん発生率一位はなぜでしょうか？</p>   |
| 66 | <p>部分地域的ではなく、全体的に計画が必要だと思います。また、幅広く府民の意見を聞く事も必要だと考えます。<br/>大阪府全体の都市計画及び環境整備の見直しが必要とも思います。</p>  |
| 67 | <p>分別回収が弱く、したがってリサイクルも遅れているのではないかと思います。</p>  |
| 68 | <p>補助金の申請を簡便にして、環境保全に積極的な企業に補助してほしい。</p>   |
| 69 | <p>補助金の増額、税制優遇など決定した分は、マスコミに積極的に情報を提供し、府民に知らしめてほしい。</p>  |
| 70 | <p>本当に府民、国民の意識レベルをまとめる事は非常に難しい状況である事は、間違いありません。しかし、そうしなければならぬ状況であると言う認識レベルは非常に低い状況では、あると思います。それを上げる為には、危機的な状況であると、言う認識レベルの底上げを行い、そこに賛同する事によって、明確に数値的結果が得られた場合、やはり、変わって来る事は、間違いのないと思います。府民、国民が ピンチを削ぎ、節水を心がけて、何%の温室効果ガスがどの様に変われるのかと言うレベルは、最低限、公表が必要なのではありませんか、少し、取り組んだが、どの様になるのか？が解らないので、止めた人もまいるのでは、ないでしょうか？意識の問題だとは、理解できていますが、継続する事が難しいのは確かです。でも、継続する人が増えなければ、結果は出て来ませんので、まずは、簡単なレベルからの徹底を促進させて、一体、どの様な効果が生まれたのかを明確に見て下さい。公表してですが、それを見た大阪人は、特に、熱く取り組んで行くではありませんか？でも、難しいわ！</p> |
| 71 | <p>埋めたて地のフェニックスの今後の展開。</p>   |
| 72 | <p>未だに規制外のトラックが大阪府内を走っているのを見かけます。そろそろステッカー未貼りの取締をしてもいいのではないのでしょうか？あと、神戸京都市付近へも規制の働きかけをされたいと思います。(出来れば全国津々浦々まで)</p>   |
| 73 | <p>優遇措置の強化と並行して違反している団体の罰則の強化や取り締まりを実施すべきと考えます。本音と建前だけの法律では本当の意味での環境の取り組みは進みません。やっている企業とそうでない企業を正當に評価し発信するシステムの構築が必要と考えます。</p>   |
| 74 | <p>淀川はきれいになったと思うが、大和川は非常に汚い。<br/>奈良県への水質浄化への規制を働き掛けるべき。</p>  |
| 75 | <p>淀川河川敷を元に戻して干潟を作る。</p>   |
| 76 | <p>湾岸線の浜寺あたりを通行していると情けなくなってくる。片方の白砂青松、片方のコンビナートの煙突群。このコントラストの妙。これが、大阪の環境問題を如実に物語っている。</p>  |